

# 令和4年度 旭中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

## 1 教育目標（目指す生徒像含む）

### 《基本目標》

人間尊重の精神を基盤に、豊かな心と個性をもち、自主性・創造性を発揮して、たくましく生きる力を培い、広く世界を見つめながら、進んで社会の発展に貢献できる人間を育成する。

### 《目指す生徒像》

- ・健康でやる気のある生徒（健康な体と気力）
- ・自ら学び創造力のある生徒（自主的な学習）
- ・心豊かで思いやりのある生徒（豊かな心）

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

### 学校経営のテーマ「誰もが安心して学び、活力にあふれる学校」

旭中学校の歴史と伝統に誇りをもち、学校と家庭・地域が支え合い、校風の継承と新しい時代にあった本校らしい教育の実践を通して、志と自信をもって生きることができ、地域を愛する生徒を育成する。

- 1 心身ともに健康で学ぶ意欲のある人間を育成するため、「知・徳・体」の調和がとれた教育課程を編成するとともに、秩序があり安心・安全な教育活動の実施に努める。
- 2 教職員の情熱と自覚、職務への責任感、協調性を高めることにより信頼される学校づくりの推進に努めるとともに、職務環境の適正化を進め、勤務意欲の向上を図る。
- 3 学校と家庭・地域との連携・協力を深め、積極的な情報発信と相互交流を大切にし、学校マネジメントシステムに係るPDCAサイクルを生かして、地域とともにある学校づくりを展開する。

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

### 本校のスローガン「Challenge」

#### 1 確かな学力を身に付けさせるための学習指導の充実

- (1) 学力の基盤となる基本的な学習態度と学習規律を身に付けさせる指導を徹底する。＜B1＞
- (2) 基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成を両立する指導を展開する。
- (3) 主体的・対話的で深い学びや学習の達成感、課題解決を重視した授業展開の工夫・改善を図る。
- (4) ○総合的な学習の時間やキャリア教育を通して、自己の生き方を見つめる学習活動を充実する。
- (5) ○家庭における学習習慣の確立と適切な学習支援に努め、学習内容の定着を確実にする。＜B1＞

#### 2 豊かな人間性と社会性を育てる教育の推進

- (1) ○教職員と生徒の好ましい信頼関係を構築し、生徒のよさを認め励ます指導と共感的な人間関係を通して、一人一人の思いやりや協調性など豊かな人間性を育成する。＜B2＞
- (2) 自己存在感・有用感がもてる学年・学級経営を実践し、集団生活の向上に寄与する態度を育てる。
- (3) 道徳や特別活動、部活動等の充実を図り、自律的かつ自主的・自治的に学校生活に取り組む態度を育成する。
- (4) ○正しい判断力と協調性を育てる指導に努め、基本的生活習慣の確立や規範意識の向上、対人関係能力の育成を図る。＜B4＞
- (5) ○学校と家庭・地域との適切な連携・協力のもと、豊かな心や感性を培う体験的な活動を展開する。＜B3＞

#### 3 健やかな心身を育む教育の充実

- (1) 健康な生活習慣を確立し、自ら進んで健康の増進に取り組む態度を育成する。＜B5＞
- (2) ○心身ともにたくましく、気力があり、何事にも粘り強く取り組む態度を育成する。
- (3) 栄養バランスのよい食生活により活力ある生活を送るため、家庭との連携を図った食育を推進する。

#### 4 新たな教育課題等への対応と働き方改革の推進

- (1) ○特別支援教育への理解と共通実践を推進し、インクルーシブ教育への適切な対応を行う。＜B2＞
- (2) 不登校の未然防止と個々の状況を踏まえた対応の充実を図るため、組織的な指導支援と家庭及び関係機関等との連携・協力を推進する。
- (3) ○小中学校教職員の相互理解と連携・協力を深め、小中一貫教育・地域学校園の取組の充実を図り、旭地域学校園教育ビジョン「地域に愛される旭っ子の育成」の具現化を目指す。
- (4) 校内美化・緑化やよりよい掲示環境、ICT機器の活用、学校図書館の充実などを通して、心豊かで主体的な態度を育む教育環境の充実に努める。
- (5) 学習指導要領改訂やGIGAスクール構想の趣旨を踏まえ、授業研究を深め、指導力の向上に努める。
- (6) 会議の精選、効率化等を通して校内業務の適正化を図るとともに、時間を意識した働き方を推進する。

「地域に愛される旭っ子の育成」 ～地域との豊かなかかわりを通して～  
 地域社会の一員としての役割や責任を自覚し、家族や友人、地域の人々への感謝の気持ちを持ち、思いやりをもって接するとともに、元気にあいさつし、ルールやマナーを守るなどの社会性と基礎学力を身に付け、進んで身の回りの人々や地域のために奉仕的に行動できるこどもの育成を図る。

#### 4 教育課程編成の方針

- ・「知・徳・体」の調和がとれた教育課程の編成
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業の実施
- ・育成すべき三つの資質能力（①実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能 ②未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等 ③学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力等）を明確にした教育活動の展開
- ・各種教育と各教科等の内容を相互に関連付けた計画作成による教科横断的な教育活動の展開

#### 5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

##### 【学校運営】

○地域との連携推進による学校教育の充実と働き方改革の推進

##### 【学習指導】

生徒の可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現

－基礎・基本の定着と学習習慣の確立－

##### 【児童生徒指導】

一人一人の生徒に寄り添う指導を通じた基本的生活習慣の定着と人として大切な心の育成

##### 【健康（体力・保健・食育・安全）】

よりよい生活習慣の確立と主体的に運動に取り組む態度の育成による健康・体力の向上

#### 6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、**文頭に○印**または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

| 項目      | 評価項目                                                           | 主な具体的な取組                                                                                                              | 方向性 | 評価                                                                                                                                                                                                                |
|---------|----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目指す生徒の姿 | A 1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。<br>【数値指標】<br>生徒肯定的回答 85%                | ① 学習課題と考えるポイントを明確にした授業を通して、学びに向かう力（自らが学びたいと思い、学び続ける力）を育む。<br><br>② タブレット型パソコンを活用した学習や自主学習ノートを通して、自ら課題を考えて取り組む態度を育成する。 | B   | 【達成状況】<br>・生徒肯定的回答 91.9%<br><br>・自主学習ノートに進んで取り組んでいる生徒が多く、肯定的回答が市平均より0.9ポイント高い。<br><br>【次年度の方針】<br>・全校体制による自主学習ノートやAI型個別学習ドリルへの取組を通して、自ら課題を考えて進んで学習に取り組む態度を育てる。                                                    |
|         | A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。<br>【数値指標】<br>生徒肯定的回答 85%<br>教職員肯定的回答 85% | ① 生徒一人ひとりが学級の構成員として、どんな立場の友人にも声かけや手助けをする実践力を養う。<br><br>② 道徳の授業等を通していじめ問題について真剣に考え、いじめをなくす取り組みを心がけている。                 | B   | 【達成状況】<br>・生徒肯定的回答 92.6%<br>・教職員肯定的回答 97.3%<br><br>・体育祭や文化祭など、学校行事に積極的に取り組む生徒が多く、居がいのある場所を感じている。<br><br>【次年度の方針】<br>・特別活動を通してリーダーとフォロワーの育成に務め、学校学級の構成員としての自覚を高めさせる。<br>・道徳では地域学校園で「いじめ」を重点課題として、公正公平な考え方を身に付けさせる。 |

|                                                                                                           |                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 90%<br/>教職員肯定的回答 90%<br/>保護者肯定的回答 90%</p>       | <p>① 教職員が生徒の模範となるようきまりやマナーを守ることを率先垂範することにより、教育活動全般においてきまりを守る姿勢を育てる。</p> <p>② 交通安全教室等の取組や、生徒同士で指摘し合えるよう指導していくことで、命の重さ、ルール・マナーを守ることの重要性を認識させたうえで行動する態度を育成する。</p> | <p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒肯定的回答 91.9%</li> <li>・教職員肯定的回答 86.5%</li> <li>・保護者肯定的回答 90.8%</li> </ul> <p>・交通安全教室、SNS 講座、いじめ根絶生徒集会などの様々な場面を活用し、生徒のきまりやマナーを守る姿勢を育てることに努めた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全教室などの機会を生かすとともに、教職員が生徒の模範となるようきまりやマナーを守ることを率先垂範することを継続する。</li> </ul>                                                                                                                                                     |
| <p>A 4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 95%<br/>教職員肯定的回答 90%<br/>地域住民肯定的回答 95%</p>         | <p>① あいさつ運動を継続し、部活動とも連携して行う。あいさつの意義を生徒に伝えることを通して、校内で会う友人、先輩後輩、先生、来校者など、相手に応じたあいさつができるようにする。</p> <p>② 授業や給食または部活動を通して、所作を含め指導し、あいさつの習慣化を図る。</p>                 | <p>A</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒肯定的回答 97.2%</li> <li>・教職員肯定的回答 75.7%</li> <li>・地域住民肯定的回答 91.7%</li> </ul> <p>・年4回の PTSC あいさつ運動、全15回の学級別あいさつ運動、生徒の誓い強化月間等、生徒があいさつを行う機会が増えるように努めた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTSC あいさつ運動に加え、生徒会主催の学級あいさつ運動を継続して行い、あいさつの機会を増やす。</li> <li>・PTSC あいさつ運動の時間が 7:40～8:00 までの登校生徒が少ない時間となっているため 7:50～8:10 までの時間に変更し、地域住民とのあいさつの機会を増やす。</li> <li>・校内における日常のあいさつを増やすために、生徒会を中心に校内あいさつを促すキャンペーンを行う。</li> </ul> |
| <p>A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 85%<br/>教職員肯定的回答 95%<br/>保護者肯定的回答 85%</p> | <p>① 定期テスト毎に学習計画と反省を書かせ、自分の目標と到達度を視覚化することを通して、粘り強く取り組む態度を育てる。</p> <p>② 生徒が前向きな目標を立てられるように、適切な進路指導や丁寧な教育相談を行うとともに、生徒の努力を認め、励ましていく。</p>                          | <p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒肯定的回答 86.0%</li> <li>・教職員肯定的回答 86.5%</li> <li>・保護者肯定的回答 81.5%</li> </ul> <p>・定期テストの学習計画と反省を書くことを通し、粘り強く取り組む態度を育てることに努めた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の計画、反省を丁寧に行い、フィードバックを行う。</li> <li>・保護者にも行った内容が伝わるようにしていく。</li> </ul>                                                                                                                                                                          |
| <p>A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 90%</p>                                           | <p>① 定期健康診断を実施し、結果を通知することで、自身の健康に関心をもたせる。</p> <p>② 避難訓練を実施し、自らの命を守り抜くための行動力を身に付けさせる。</p>                                                                       | <p>B</p> <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒肯定的回答 93.7%</li> </ul> <p>・生徒の肯定的回答は、昨年度を 0.7 ポイント上回る 93.7%であり、目標を上回った。</p> <p>・定期健康診断、避難訓練を行った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染の状況を踏まえて活動していく。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                         |

|                                                                                                            |                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>A 7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 90%<br/>教職員肯定的回答 100%<br/>保護者肯定的回答 90%</p> | <p>① キャリア教育アンケートやキャリア・パスポートを活用して自己の基礎的・汎用的能力を振り返らせ、伸ばしたい力の目標と課題を明確にしてその育成に努めさせる。</p> <p>② 道徳、学級活動、総合的な学習の時間の中で、自己や自分の将来について深く考えることを通して、夢や目標を見つけそれに向かって努力する力を身に付けさせる。</p> | <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒肯定的回答 86.0%</li> <li>・教職員肯定的回答 86.5%</li> <li>・保護者肯定的回答 81.5%</li> </ul> <p>・キャリア教育アンケートは年度初めと終わりの2回実施。基礎的・汎用的能力をレーダーチャートに表し、生徒個人、各学級、各学年、学校の目標と課題を明確にして今年度の学校教育活動に取り組んだ。</p> <p>・キャリアパスポートは基礎的・汎用的能力の視点で活動のふり返りが行えるよう自校化を図り、計画通りに実施した。</p> <p>・道徳、学級活動、総合的な学習の時間の年間指導計画にもキャリア教育に関する項目を位置づけ、計画通りに実施した。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、キャリア教育アンケート結果をはじめ、キャリア教育に関するさまざまな情報発信をGoogleクラスルームに一元化し、紙媒体や学校ホームページでの情報発信を廃止した。生徒および教職員はGoogleクラスルームにアクセス可能であるが、今年度は保護者が直接アクセスできない環境となっている。次年度も上記同様の環境下であれば、紙媒体ならびに学校ホームページを通して保護者への情報発信を行っていききたい。</li> <li>・授業、学校行事、生徒会活動、部活動などあらゆる教育活動をキャリア教育における基礎的・汎用的能力の視点で捉え、逐次ふり返りをする取組みを学校全体で足並みを揃えた取組みを行っていききたい。</li> </ul> |
| <p>A 8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 80%</p>                                          | <p>① 必要な情報や概要・要点を聞き取ったり、読み取ったりさせる。</p> <p>② 関心のある事柄や日常的・社会的な話題について、やり取りさせたり、発表させたり、書かせたりする。</p>                                                                          | <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒肯定的回答 83.2%</li> </ul> <p>B</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを用いて教科書の音声学習を使用することで、情報を聞き取ったり、読み取ったりする活動を行っていく。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p>A 9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 80%</p>                                                 | <p>① 地域ボランティアへの参加や総合的な学習の時間(宇都宮学)の活動等から宇都宮の良さを多く体験できるように工夫する。</p>                                                                                                        | <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒肯定的回答 83.5%</li> </ul> <p>・地域での社会体験学習や宇都宮学で地域を調査する学習が十分にできた。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇都宮学に関する教材開発や地域ボランティアの参加、社会体験学習における地域の体験活動から宇都宮や地域のよさに気付かせていく活動を継続して充実させていく。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>A 10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 90%</p>                                         | <p>① 生徒用タブレット型ノートPC等を用いて調べ学習を行い、課題をまとめ、発表することで理解を深める。</p> <p>② 年鑑や統計など、様々な参考図書の調べ方を理解し、目的に応じた適切な参考図書を選び、有効に活用させる。</p>                                                    | <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒肯定的回答 87.6%</li> </ul> <p>・生徒用タブレットを日常的に活用でき、課題をまとめ発表するなど理解が深まった。</p> <p>B</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に効果的な活用法を伝え、各教科等で利用法を選択し実践していく。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

|         |                                                                                                           |                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目指す学校の姿 | <p>A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 90%<br/>地域住民肯定的回答 90%</p>                    | <p>① 学校行事や生徒会活動を通して高齢者と関わり、高齢者を身近に思える機会を作る。</p> <p>② 各教科や道徳科の授業で高齢者を扱う題材を通して、高齢者に対する理解を深め、いたわりの気持ちを醸成する。</p>                                                              | <p>B</p> <p>【達成状況】<br/>・生徒肯定的回答 92.6%<br/>・地域住民肯定的回答 100%</p> <p>・地域協議会と連携して高齢者宅訪問に参加することができた。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・コロナ禍での活動におさめずに継続して計画、参加できるようにする。</p>                                                                                                                    |
|         | <p>A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 80%</p>                                      | <p>① 各教科の学習や総合的な学習の時間の中で、「持続可能な社会」について学ぶ機会を活用し、自己を取り巻く環境について考えることで、「持続可能な社会」に対する理解を深める。</p> <p>② 地域のボランティア活動の機会を増やしながら、校内でもごみの分別等を推進し、環境を大切にすることを養う。</p>                  | <p>A</p> <p>【達成状況】<br/>・生徒肯定的回答 76.9%</p> <p>・今年は、コロナの影響で校外での活動が中止となったことから数値が下がった。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・活動制限の解除により、ゴミ拾いやボランティア活動等外部での活動を再開することで SDGs 活動の活性化を図る。</p>                                                                                                         |
|         | <p>B1 教職員は、生徒が自主的な学習を進めることができるように、学習の進め方を指導している。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 90%<br/>教職員肯定的回答 90%</p>       | <p>① 自主学習の仕方や定期テストに向けた具体的な対策を各教科の授業や学年集会等で説明し、学習の手引きを活用して効果的な学習の仕方を指導する。</p> <p>② 火曜日と木曜日の朝の読書の時間（10分）にタブレット型PCを活用した学習活動を取り入れ、家庭での活用を見据えて、生徒が自主的に取り組めるよう、学習の進め方を指導する。</p> | <p>B</p> <p>【達成状況】<br/>・生徒肯定的回答 91.6%<br/>・教職員肯定的回答 97.3%</p> <p>・学習の手引きや自主学習ノートの取組を紹介した掲示物を参考にしながら自主的な学習を進めている。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・タブレット型PCを活用し、学校においても家庭においても、生徒が自主的に学習に取り組めるよう手立てを講じる。</p>                                                                             |
|         | <p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】<br/>教職員肯定的回答 90%</p>                           | <p>① 教育相談部会、特別支援部会、特別支援教育校内支援委員会において情報交換をしっかりと行い、報・連・相を確実にしながら素早く対応する。</p>                                                                                                | <p>B</p> <p>【達成状況】<br/>・教職員肯定的回答 91.9%</p> <p>・各部会を開き、情報交換を行うことができた。必要に応じてケース会議を行い、諸機関とも連携を図ることができた。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・継続して支援を行うために、話し合いをこまめに行う。</p>                                                                                                                     |
|         | <p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 95%<br/>教職員肯定的回答 100%<br/>保護者肯定的回答 90%</p> | <p>① 道徳などの心の教育を重視し、いじめの未然防止の取り組みの充実を図るとともに、HPや各種便りを通して、取り組みを保護者や地域社会に積極的に発信する。</p> <p>② 教育相談やQUなどを十分に活用し、いじめの早期発見・早期対応を行うとともに、保護者との信頼関係を築いていけるように、適切な対応を心掛ける。</p>         | <p>B</p> <p>【達成状況】<br/>・生徒肯定的回答 95.2%<br/>・教職員肯定的回答 97.3%<br/>・保護者肯定的回答 78.6%</p> <p>・いじめアンケートの定期的な実施と迅速な対応等は一年間継続して行ったが、HPなどを通しての保護者に対する学校の取組の発信は不十分だった。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・HPなどを通しての保護者に対する学校の取組の発信はもう少し積極的に行う必要がある。<br/>・問題等が起きた時の迅速な対応と、本人や保護者に寄り添った丁寧な説明を継続していく。</p> |

|                                                                                                        |                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】<br/>保護者肯定的回答 80%</p>                                     | <p>① 教育相談や三者懇談等を有効に活用しながら、家庭との連携を密にとり、問題があれば早期対応、早期解決をめざす。</p> <p>② 心配な生徒に教職員がチームで対応することで、学校とのつながりを維持し、不登校を生まない環境作りを推進する。</p>        | <p>A</p> <p>【達成状況】<br/>・保護者肯定的回答 88.7%</p> <p>・1時間目から6時間目までのレインボー教室の開設ができた。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・よい事例の共有を図り、クラス経営に活かしていく。</p>                                                                                                                                                                                              |
| <p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】<br/>教職員肯定的回答 80%</p>                             | <p>① 日本語の習得が不十分な外国人生徒の日本語の指導を計画的に行い、今年度の目標を設定させ、個人内評価を工夫する。</p> <p>② 日本語の指導講師やボランティアの方、また学級担任や学年主任と密に連絡を取り、継続的に学習に取り組めるよう支援していく。</p> | <p>B</p> <p>【達成状況】<br/>・教職員肯定的回答 91.9%</p> <p>・今年度から、日本語指導教室通級生徒の中で日本語の能力が初期段階にある生徒を対象に定期テストを日本語指導教室で受検できるようにして、問題文中の漢字の読み方について支援した。</p> <p>・個別の指導計画の策定、目標の設定を行ったことで、個に応じた適切な指導ができた。</p> <p>・外部指導者、関係機関および関係職員との連携を図ったことで、効果的な学習支援や進路指導支援が行えた。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・学級担任や教科担任等と情報を共有しながら、外部指導者等と連携し、日本語能力に応じた指導の工夫を図る。</p> |
| <p>A17 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 90%<br/>教職員肯定的回答 95%<br/>保護者肯定的回答 95%</p> | <p>① 学校行事や学級活動、生徒会活動において、生徒の主体的な活動をするための場を取り入れ、認め励まし、自己有用感を育てる。</p> <p>② 生徒の実態に即した指導計画を立て実践し、充実した学校生活がおくれるように支援していく。</p>             | <p>A</p> <p>【達成状況】<br/>・生徒肯定的回答 88.8%<br/>・教職員肯定的回答 91.9%<br/>・保護者肯定的回答 93.5%</p> <p>・制限がありながらも、各学校行事をはじめとして、昨年度より生徒の活躍の場面を増やすことができた。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・今後もできる限り生徒の活躍の場面を設けていく。<br/>・各学級において、行事の振り返りなどをより丁寧に行う。</p>                                                                                                     |
| <p>A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 85%</p>                          | <p>① 学習課題の提示、習得・活用・探究の時間を確保し、生徒による振り返りと教師によるまとめを明確にした授業を展開する。</p> <p>② 知識・技能を活用して考えさせたり、自分の考えを表現させたりして、思考力・判断力・表現力等を育成する。</p>        | <p>B</p> <p>【達成状況】<br/>・生徒肯定的回答 90.4%</p> <p>・教師の意識としては昨年度同様達成感を感じているが、生徒の意識としては肯定的回答が市平均より2.1ポイント低い。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・きめ細やかな指導に向け、学習課題を提示し、問題解決が困難な状況を捉えて適切に生徒を支援する。<br/>・分かる授業展開に向けて、授業で身に付けさせたいことを明確にまとめるとともに、学習の振り返りをさせる。</p>                                                                                      |

|                                                                             |                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】<br/>教職員肯定的回答 90%</p> | <p>① 学校経営のテーマや、スローガンを学年フロアへ掲示したり、印刷物の中に記載したりすることで、全職員がより意識を高めて、業務を進められるようにする。</p> <p>② 行事の計画を早くから検討し、共通理解を図り、全職員で同じ方向性で進められるようにする。</p>                                              | <p>B</p> <p>【達成状況】<br/>・教職員肯定的回答 91.9</p> <p>・ほとんどの職員がスローガンを意識しながら業務を進めた。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・スローガンを日常的に目にする場所に掲示するなど、より全職員がスローガンを意識しながら教育活動を実践していきけるようにする。<br/>・行事の計画等を早くから検討し、全職員で同じ方向性で進められるようにする。</p>                              |
| <p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】<br/>教職員肯定的回答 80%</p> | <p>① チーム学校として、SC、SSW、かがやきルーム指導員等と連携、協力して役割分担を図り、効果的な手立てを講じる。</p> <p>② リフレッシュデーを活用し、勤務時間内に業務を終わらせるよう効率的に行う意識を高める。</p> <p>③ タブレットやパソコンを利用した情報共有や生徒への問題提示等、紙印刷の手間を省くことで教員の業務縮減を行う。</p> | <p>A</p> <p>【達成状況】<br/>・教職員肯定的回答 56.8%</p> <p>・コロナ禍で実施できなかった活動が、ほぼ以前のように実施できるようになり、昨年度より活動の準備等の業務時間が増えた。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・リフレッシュデーを活用し、勤務時間内に業務を効率的に行うひとりひとりの意識を高める。<br/>・本年度は、通知表の所見を年1回に減らすなど改善を行ってきたが、更なる業務の精選で効率化を進める。</p>      |
| <p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】<br/>教職員肯定的回答 80%</p>      | <p>① 地域学校園あいさつ運動の充実や行事等における小中の連携、中学生によるボランティア活動の充実を図る。</p> <p>② 各学校の課題を明らかにして、地域学校園各部会の取組を充実させる(学力向上部会・特色ある学校づくり推進部会・連携部会・学校園事務室)</p>                                               | <p>B</p> <p>【達成状況】<br/>・教職員肯定的回答 83.8%</p> <p>・小中連携してのボランティア活動はできなかったが、あいさつ運動は充実した取組になった。<br/>・学力向上部会・特色ある学校づくり推進部会は、オンライン会議で効率的に行うことができた。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・行事等における小中の連携したボランティアを充実させる。<br/>・地域学校園各部会をオンライン会議などで効率的に行うことを進めていく。</p> |
| <p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】<br/>教職員肯定的回答 80%</p>   | <p>① 地域コーディネーターとの連携により、地域協議会との協力体制を構築し、学校支援の取組を推進する。(学校環境整備、読み聞かせ活動等)</p>                                                                                                           | <p>B</p> <p>【達成状況】<br/>・教職員肯定的回答 91.9%</p> <p>・感染予防を施しながら、花壇整備を行うことができた。<br/>・各教室での読み聞かせやブックトークは充実した取組ができた。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・地域コーディネーターとの連携を高めるとともに、感染症対策を講じた上で工夫しながら、読み聞かせ、ブックトーク等の教育活動を進めていく。</p>                                 |

|                                                                                            |                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|--------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>A 23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】<br/>保護者肯定的回答 80%</p>        | <p>① 保護者会、三者懇談等を活用し、保護者との連携を図る。</p> <p>② 社会人の方からの講演やボランティア活動を通してより良い生徒の育成を行う。また、PTA との連携を深め、学校運営の充実を図る。</p>                                                                                                   | <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者肯定的回答 85.3%</li> <li>・教職員の肯定的回答は、昨年度を 5.1 ポイント下回る 91.9%であったが、目標を上回った。</li> <li>・体育祭、文化祭では、生徒との動線を分けるなどの工夫をし、保護者に観覧してもらうことができた。</li> <li>・コロナ禍で制限される中、工夫を凝らしながら、保護者会や三者懇談を行い、生徒の様子を保護者に伝えることができた。</li> <li>・社会体験学習は、地域の企業等の協力により、充実した活動ができた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の経験を生かし、感染症対策を講じながら、保護者や地域との連携を高めていけるような取組を工夫して実施する。</li> <li>・宇都宮学の調査活動等において地域の方々と企業との連携を図る。</li> </ul> |
| <p>A 24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】<br/>保護者肯定的回答 85%<br/>地域住民肯定的回答 85%</p> | <p>① 毎月 1 回、児童生徒等が使用する校地、運動場、教室、特別教室、廊下、昇降口、ベランダ、階段、便所、手洗い場、給食室、屋上などについて、計画的に、組織的に安全点検を実施する。</p> <p>② 学校行事の前後や、災害発生時等、必要があるときは臨時に安全点検を実施する。</p>                                                               | <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者肯定的回答 89.3%</li> <li>・地域住民肯定的回答 100%</li> <li>・通行禁止箇所の早期改善。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に問題意識をもって安全に配慮する。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <p>A 25 学校は、学習に必要な ICT 機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 85%</p>                     | <p>① 授業中の視覚効果を高めるため、生徒用タブレット型 PC や実物投影機等を整備するとともに教員研修を行い有効に活用できるようにする。</p> <p>② 司書が授業に参加し、参考図書のアドバイスをしたり、前年度の調べ学習等で不足している本の補充をしたりするなど、必要な本が探しやすいよう工夫する。</p>                                                   | <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒肯定的回答 87.6%</li> <li>・生徒用タブレットを日常的に活用でき、課題をまとめ発表するなど理解が深まった。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に効果的な活用法を伝え、各教科等で利用法を選択し実践していく。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>B 2 教職員は、生徒同士が互いに認め合える環境作りをしている。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 90%<br/>保護者肯定的回答 85%</p>     | <p>① 行事等の振り返りワークシートの中に他の生徒の取組を認める項目を設ける等の工夫をするとともに、各種便り、HP 等で学校の取組を保護者に積極的に発信していく。</p> <p>② 道徳の授業をはじめとする学習活動の中にグループ活動を取り入れるなど互いの意見を交わす場を設定し、GoogleJamboard 等のアプリも活用することで他者の考えに触れさせ、その考えを共有し、尊重し合える場を設定する。</p> | <p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒肯定的回答 90.6%</li> <li>・保護者肯定的回答 82.1%</li> <li>・保護者への行事等の取組みの発信がやや消極的であった。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度に引き続き、行事等の振り返りワークシートを活用し生徒の取組みを認める項目を設けたり、HP 等で学校の取組みを保護者に発信したりしていく。</li> <li>・今年度と同様に、道徳の授業や学習活動の中で意見交換の場を増やし、お互いの考えを聞き合い認め合う場を設定していく。</li> </ul>                                                                                                                          |

|           |                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 本校の特色・課題等 | <p>B3 学校や地域は、生徒が自主的に地域の行事に参加し、活動することを支援している。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 85%<br/>地域住民肯定的回答 80%</p>                                                                          | <p>① 年間を通して地域の行事に自主的に参加する機会を設定し、地域と共に支援することで、地域貢献の意識を高める。</p> <p>② 地域行事への参加の様子を収めた写真などを、学校HPに掲載したりすることで、生徒の達成感を高める。</p>                     | <p>B</p> <p>【達成状況】<br/>・生徒肯定的回答 91.1%<br/>・地域住民肯定的回答 100%</p> <p>・昨年度よりも地域でのボランティア活動の機会が増えた。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・生徒の安全を考慮しながら、地域の行事やボランティア活動を精選して紹介し、参加を促していく。</p>                                                                                         |
|           | <p>B4 学校や地域は、定期的に登校指導や下校指導を行い、登下校時のマナー向上や生徒の自発的なあいさつの浸透を図り、「地域に愛される旭っ子」の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】<br/>生徒肯定的回答 85%<br/>教職員肯定的回答 90%<br/>保護者肯定的回答 85%<br/>地域住民肯定的回答 90%</p> | <p>① 保護者・教職員・生徒・地域が一体となって行うPTSCあいさつ運動を計画的に行い、教職員で連携を取りながら下校指導を行う。</p> <p>② 一斉下校の際には、交通担当教員を中心に、巡回下校指導に当たり、登下校時のマナー向上や生徒の自発的なあいさつの浸透を図る。</p> | <p>B</p> <p>【達成状況】<br/>・生徒肯定的回答 91.1%<br/>・教職員肯定的回答 97.3%<br/>・保護者肯定的回答 81.3%<br/>・地域住民肯定的回答 100%</p> <p>・PTSC あいさつ運動の実施回数を4回に変更して実施した。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・PTSC あいさつ運動を通してあいさつだけでなく登下校時のマナーについても教職員、保護者で指導していく。<br/>・一斉下校の際の巡回下校指導や、下校の仕方について注意喚起を図る。</p> |
|           | <p>B5 学校や家庭は、生徒が主体的によりよい生活習慣を確立し、心身ともにたくましく、規則正しい生活習慣を身につけられるよう支援している。</p> <p>【数値目標】<br/>生徒肯定的回答 85%<br/>保護者肯定的回答 85%</p>                                                 | <p>① 学校行事や専門委員会、各教科を通して、よりよい生活習慣を身に付けさせるような活動を行う。</p> <p>② 保健だより、食育だより、生徒指導だより、図書館だより、各種だよりを活用する。</p>                                       | <p>A</p> <p>【達成状況】<br/>・生徒肯定的回答 95.2%<br/>・保護者肯定的回答 91.3%</p> <p>・生活の振り返りシートを継続的に実施した。</p> <p>【次年度の方針】<br/>・専門委員会、学校行事、各教科等を通して、生活習慣を身につけさせる。その際に、保健だより、食育だより、各種だよりを活用する。<br/>・礼節、語先後礼の指導を行う。</p>                                                           |

## 7 〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート全評価項目（内5項目は独自項目）中、対象者数値指標をすべて達成した項目は19評価項目となった。それぞれの項目を昨年度と比較すると、数ポイント下回るものは見られるが、肯定的回答の割合が80%以上の項目は全体の88%となり、今年度の本校の取組は妥当であったと評価できる。</li> <li>生徒の肯定的回答で顕著な増加が見られた項目は、小中一貫・地域学校園の取組（A21）、地域の行事参加への支援（B3）であった。特に「小中一貫・地域学校園の取組」については、市平均より18.5ポイントも高い。小中連携あいさつ運動には多くの生徒が積極的に参加しており、コロナ禍で実施することが難しかったボランティア活動も徐々に増え、それに伴ってボランティアへの参加者も増えてきていることが評価につながったと考えられる。</li> <li>誰に対しても思いやりの心をもって優しく接している（A2・A11）については、教職員・保護者・地域住民・生徒すべての肯定的回答が昨年度を上回っており、さらに90%以上の高い肯定的回答が得られている。教育活動全体を通して、互いの存在を認め合い励まし合う雰囲気づくりに努めた成果であると考えられる。</li> <li>教職員の肯定的回答で顕著な増加がみられた項目は、宇都宮の良さを知っている（A9）、地域に愛される旭っ子の育成（B4）である。総合的な学習の時間で「宇都宮学」に各学年しっかりと取り組んでいることや、全職員が共通理解のもと、登・下校指導、マナー向上に努めていることが評価に表れたと思われる。</li> <li>今年度の課題の一つであった時と場に応じたあいさつ（A4）について、生徒と保護者は昨年度を上回る肯定的回答であり、特に生徒は97%を超える高い値となっているが、教職員は昨年度を下回る肯定的回答であり意識の差が見られる。</li> <li>業務の効率化（A20）については、昨年に引き続き、教職員で最も低い肯定的回答であった。市平均より8.8ポイント低い。業務の精選、効率化を進め、リフレッシュデーを活用した意識改革にも努めているが、コロ</li> </ul> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

- ・ナ禍で負担が増えた部分もあり評価としては厳しい結果となった。
- ・地域の方からは、昨年に引き続き高い評価をしていただき多くの項目で100%の肯定的回答となった。

## 8 学校関係者評価

- ・学校は、コロナ禍においても感染対策を施しながらあいさつ運動やボランティア活動、地域未来会議など出来る活動を実施し、地域に愛される旭っ子の育成に励んでいると思う。
- ・全体的に肯定的回答の数値も高く意識の高さを感じた。
- ・旭中の徒歩通学については、安全面の観点から継続してほしいと思う。要望としてもお願いしたい。また、この徒歩通学については、A12のSDGsの観点からも貢献していると考えます。
- ・あいさつについて、生徒の肯定的回答は高くなっているが、自発的なあいさつが出来ていない場合も見受けられる。挨拶を返すことで満足しているのかもしれない。今後は自らすすんで挨拶ができるよう努力して欲しい。

## 9 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

- ・コロナ禍ではあるが、ICT機器を有効に活用することで活動の幅が広がり、学校行事や生徒会活動において新たな取組が見られるようになった。さらに、感染対策に配慮しながら活動することが増えつつあることから、様々な活動に対しての生徒の肯定的回答が増加していると思われる。次年度も工夫を凝らし、生徒の意欲を喚起できるような活動を取り入れていきたい。
- ・保護者の方からは、コロナ禍で学校に行く機会がとて少なく判断が難しいという意見が見られる一方で、感染対策への配慮をしながら体育祭や文化祭、授業参観等を実施したことへの感謝の言葉も見られた。今後、感染症の対応が変わることを踏まえつつ、保護者や地域の方の参加方法や情報発信について検討し、よりよい方策で活動を実施できるよう努めていきたい。
- ・学校行事や学級活動、生徒会活動等において、生徒の主体的な活動を推進してきており、制限のある中でも生徒の活躍の場を増やすことができた。今後もできる限り活躍の場を設け、活気があり明るく生き生きとした雰囲気でも過ごせるよう努めていく。
- ・課題としていたあいさつについては、生徒があいさつをする活動を増やし、あいさつの習慣化を図ってきたことが成果として表れ、生徒の肯定的回答は高い値となったが、教職員との意識の差が見られた。マスク生活が長くなり、大きな声を出す機会が減ったことも意識の差が出た要因と考えられる。日頃の教育活動全体で意識を高められるよう取り組んでいきたい。
- ・「持続可能な社会」については、今年度は目標を達成することはできなかったが、年々肯定的回答の伸びが見られるなど関心が高まっている。また、生徒会活動においても各委員会で取組が見られ、地域未来会議でも議題として取り上げ協議するなど、学校全体として機運の醸成が図られている。取組を継続させ、さらに関心を高めるためにも、活動の見直しや工夫をしながらしっかりと取り組んでいきたい。
- ・地域行事におけるボランティア活動が中止になるなど、昨年度に引き続き思うような活動ができなかったが、地域での新たな活動が始まるなど、活動が徐々に増えてきている。ボランティア活動に興味・関心の高い生徒も多く、地域との連携を密にしながら活動を再開していきたい。
- ・「地域に愛される旭っ子」の育成に関する項目の生徒の肯定的回答は、年々増加している。生徒の登下校のマナー向上や高齢者等への関わり等により、地域の方から見守られていることを実感する場面もあった。地域学校園の教育ビジョンに関わる質問でもあり、今後も家庭と地域、小学校とも連携を深めていきたい。